1月 January 睦月

Asahikawa Fuji Information

旭川藤 インフォメーション

旭川藤女子高等学校
月刊だより2012年1月号
発行：旭川藤女子高等学校
http://www.fuji.ed.jp

旭川藤の特色を知る その⑨

宗教の授業で学ぶこと

授業のなかに「宗教」があることは、本校の大きな特徴のひとつです。私立学校には建学の精神（その学校の使命としての教育理念）に従った独自の教育があります。全国約二百校、北海道でも八校のカトリックミッションスクールに宗教の授業がありますが、各校ともオリジナルの授業です。

旭川藤女子高等学校では、三年間、毎週一時間宗教の時間があります（ULコースは、UREの名称で一、二年で週二時間ずつ）。一年生で聖書を学び、二年生でキリスト教の歴史や思想、日本の宗教や宗教文化などにも触れていきます。三年生では、戦争と平和、命の尊厳、差別問題などの倫理的なテーマを考えていきます。

国際化し、多様化する社会のなかで、宗教の問題は、様々な問題に深く関わっていることがあります。宗教を知らなければ、コミュニケーションもうまくいかなくなることもあります。本校では、キリスト教をまず入口にしながら、物事の捉え方や自分自身の考え方を養うことを学習のねらいにしています。当然のことながら、各家庭で培った宗教心がありますから、個人を尊重しつつ、様々な価値観に触れながら、世界に貢献できる心のあり方を育てたいと考えています。

本校で学ぶ生徒のなかには、キリスト教徒はほとんどいません。宗教・宗派問わず、自分の立場から自由な意見を述べられるのも本校の宗教の特徴かもしれません。家がお寺だという生徒もみられます。そのような生徒からは、三年間宗教を学んで、視野を広げることができ、勉強になったという意見を聞くことがよくあります。

「心の竜」を育てること

昨年末にブータン国王夫妻が来日されました。国王が「竜は心の中に住んでいる。自分の竜を育てなさい。」と語った言葉は、辰年を迎える日本人への希望の贈り物のようでした。

今年の干支の「辰」（龍、竜）は、中国やブータン、日本などの東洋では崇高な動物ですが、西洋では一変します。英語で竜は、ドラゴン（DRAGON）といいますが、たとえでもドラゴンは乱暴者を指します。また、三省堂の英語の辞書には、若い女性を指導するにらみを利かせた年配の女性もドラゴンとありました。アルプスの少女ハイジに登場したロッテンマイヤーさんのような存在でしょうか。だとすれば「良薬口に苦し」の感もあり、怖くもあるが、竜も百害ではないように感じられます。

西洋で竜に恐怖や悪のイメージがある理由のひとつにはキリスト教の影響があります。聖書のなかで竜は悪の象徴とみなされ、黙示録という書物には、七つの首を持つ竜が世界を滅ぼしにやって来る様が描かれています。当時キリスト教を迫害していたローマ帝国軍の紋章が竜だったことも関係があるのかもしれません。竜はまさに力の象徴であると同時に、人々を脅かす圧制や暴力、恐怖の姿でもあったのです。そのため、西洋には竜退治をする英雄伝説もいくつかあります。

本校の経営母体である殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会の名称にある殉教者聖ゲオルギオ（ドイツ語読み、英語でジョージ）も竜退治で知られた人物です。聖ゲオルギオは、生贄に村の娘たちを求めて人々を脅かした竜を懲らしめたといわれています。

しかし、東欧には改心した竜も存在し、悪の象徴となっていた竜も、実際には旗印などで大事にされている一面があります。イギリスウェールズの赤い竜は古くからトレードマークになっていますし、ロンドンシティの紋章も銀竜に赤の印です。軍隊の紋章に竜は欠かせず、抑止力の代名詞のようです。

次に英語で竜を使ったことわざがあります。

Better be the head of an ass
than the tail of a dragon.

竜の尻尾でいるよりは、ロバの頭になる方がよい。

ロバ（ASS）は、聖書では柔和と謙遜の印でもあります。イエスがロバに乗ってエルサレムに入城したのは、平和の実現のためでした。ロバが柔和で謙遜な者ならば、竜は、前述にある権力や力なのかもしれません。強力な大集団で自分を見失うよりは、小集団で自分らしくありたいと望む選択が、ことわざの意味です。こじつけのようですけど、高校進学にはその選択の自由があると思います。

さて、冒頭のブータンは、豊かさを幸福度で図るとことで話題となりました。「竜は心の中に住んでいる。自分の竜を育てなさい。」という言葉の先に目指すものは、西洋で考える悪の象徴ではないはずです。しかし、私たちは生き方を間違えると人々を脅かすドラゴンにもなる可能性を持っています。西洋と東洋の竜を比較して調べていくうちに、そのような思いがめぐりました。心の中で暴れるまだ未熟な竜と闘っている若者がいることでしょう。一人ひとりの心の中の竜は社会をよくする力になると確信します。心の竜を育てることは、教育の醍醐味だと思うばかりでした。

学校案内犬 Seeずぅ～

作 T.T.Y

昔、中国に張僧繇（ヨウ）という絵の達人がいた。南京の安楽寺の壁に四白竜を描いたが、目だけは書かなかった。目を入れたら逃げてしまうというが、誰も信じない。そこで二匹に目を入れたら、たちまち竜は壁を壊して、天に登ったという。

（『歴代名画記』より。日栄社『史伝・文章』参照）

画竜点睛（がりょうてんせい）とは、ここから生まれた…。

Lack the finishing touch

画竜点睛を欠く

「画竜点睛を欠く」

最後の詰めが大切です。
画竜点睛を欠くことがないように
受験生の皆さんも頑張ろう！！

あと二匹のゆくえ

たつ、タッちゃんって…。
なんてなれなれしい。
でも、ちょっとうれしい
竜ちゃんたちであった…。

TOPICS

クリスマスお喜びの会 12/21 Wed

旭川藤の2学期は宗教行事で締めくくります。「クリスマスお喜びの会」は本校の伝統行事です。学校でこのような行事を行うのは、道北地域では、本校だけかもしれません。今年は、「信仰」をテーマにキリストの生誕劇をおこないました。聖なる気分を味わう本物のクリスマスを体験したのではないでしょうか。

東アジア青少年大交流事業（JENESYS）11名の生徒たちとの交流 12/14 Wed

国籍はタイ、フィリピン、ラオス、インドネシア、マレーシア、インド、オーストラリア、ニュージーランドからと様々でした。ULコースの生徒との交流や箏の体験、進学コースの日本伝統文化の授業で「祝いの席」を体験し、桜湯、和菓子を口にしました。

ULコース11期生による英語劇 12/17 Sat

A Christmas Carol - The Tale of a Selfish Girl -

クリスマスイブの夜、母親が子どもたちに伝えるひとつの物語り…。

それは意地悪でうぬぼれた少女ミシェルが主人公のお話でした。

ミシェルは友達からのクリスマスパーティの誘いを冷たくあしらい断ってしまいます。しかし、その夜、彼女は不思議な出会いに遭遇するのです…。

クリスマスキャロルをモチーフにコミカルなタッチで仕上げた英語劇でした。

★学校見学は、いつでもできます。事前にご連絡ください。